

名古屋三河道路(西知多道路～名豊道路区間)の都市計画の案を作成するための基本方針(案)及び環境影響評価方法書に関する説明会

- 1 とき 令和8年1月24日(土)午後2時30分から午後3時30分まで
- 2 ところ へきしんギャラクシープラザ 大会議室
- 3 来場者 17名
- 4 出席者 愛知県 都市・交通局 都市基盤部 都市計画課
愛知県 建設局 道路建設課
安城市 都市整備部 都市計画課
- 5 内容
 - 1)挨拶
 - 2)名古屋三河道路(西知多道路～名豊道路区間)の都市計画と環境影響評価について
 - 3)都市計画の案を作成するための基本方針(案)について
 - 4)環境影響評価方法書について
 - 5)質疑応答

【質疑応答要旨】

質問等要旨	回答要旨
大きな道路ができることで、地域が分断されることを懸念している。特に防災面で、既存の道路が分断されることにより、消火栓や水利(消防水利)が使えなくなるのではないか。事前の調査や、対策をしつかり行ってほしい。	現在は1km幅という広いルート帯を示している段階であり、今後段階的に計画の熟度を上げ、詳細なルートを決定してまいります。事業実施の段階では、既存の道路が分断されないよう、事業者が道路の付け替え等を検討することになります。 水利施設の付け替えについても、事業実施の段階で、事業者が地域の方々と相談しながら計画を進めてまいります。
約35年前に都市計画決定された、三河安城地域と名豊道路高棚北インターチェンジの間((都市計画道路)新池箕輪線)が未着工であり、箕輪町内では朝晩に大渋滞が発生している。本道路の整備に合わせて、この未着工区間も同時に整備されるのか。	本道路の整備により、交通の流れが大きく変わることは認識しております。ルート決定の過程で、インターチェンジが接続する一般道への影響を予測し、現在の構造では対応できないと判断した場合は、本道路の計画とあわせて関連道路の都市計画変更も検討します。 ただし、関連路線全線を対象とする訳ではなく、検討の結果、影響の大きい区間を都市計画変更します。

いつ頃の完成を目指しているのか。	現在は都市計画手続が始まったばかりの段階で、今後も各段階で説明会などを開催し、皆様からのご意見を踏まえながら、計画の熟度を上げてまいります。皆様のご意見を丁寧に検討していく必要があるため、現時点では、明確な完成時期を申し上げることはできません。丁寧に時間をかけて、かつ可能な限り速やかに手続を進めてまいります。
概略ルート図の都市計画道路名の前に記載されている番号は、何を意味するのか。	都市計画道路に割り振られた整理番号です。
本道路に物流の需要があるのかイメージが湧かない。	<p>現在、境川・衣浦港を渡る橋に交通が集中しており、特に長距離を移動する大型車が一般道と混在していることが渋滞や安全上の課題となっております。本道路の整備によりこれらを分離し、交通の円滑化を図ることを目的の一つとしております。</p> <p>また、この地域には幹線道路が南北に3本(西知多道路、知多半島道路、名豊道路)ありますが、これらを結ぶ東西の軸を作ることで、災害時などの迂回路としての役割も果たします。</p>

(説明会配布資料)

- ・名古屋三河道路(西知多道路～名豊道路区間) 都市計画の案を作成するための基本方針(案)
- ・名古屋三河道路(西知多道路～名豊道路区間) 環境影響評価方法書のあらまし